

# 婚就活の提案

A proposal to spread an idea of “KONSYUKATSU”

多摩東京大学生会

竹田将暉<sup>1)</sup>, 大石健人<sup>2)</sup>, 橋功大志<sup>3)</sup>

指導教員 高永皓

- 1) 帝京大学教育学部 教育文化学科所属
- 2) 東京都立大学経営学部 経営学科所属
- 3) 帝京大学教育学部 初等教育学科所属
- 4) 拓殖大学客員教授研究員・韓国統一振興院専任教授

キーワード：少子高齢化、大学生、未婚化、晩婚化、人口の自然減少

## 1.昨年に続く問題提起

### i アンケート調査の結果と仮説

昨年、我々は八王子市内の大学に通う約 250 名の大学生を対象として、結婚に関する意識調査のアンケートを実施した。調査の結果、7割を越える学生が結婚への希望を持っている反面、

「経済面の先行きの不透明さ」や「適当な相手に巡り会えるか」といった不安を抱えている事が分かった。そこで我々はこの調査結果をもとに、仕事や学業と、結婚や家庭生活を同時に考え準備をする「婚就活」という概念を打ち立てた。

家庭におけるお金のやりくり等上記の不安の解決には、青年期、特に我々大学生の時期から結婚に対する自分なりのイメージを有し、結婚への意識を維持することが重要になってくる。

マクロ的視点に立脚して例を挙げれば、家庭生活の為の貯蓄が該当し得る。貯蓄は、仕事の収入と直接に関係する以上両者は同時並行して考える必要が生じる。この様に結婚と就活の共通項に着目することにより、両者に対して一層具体的なイメージを抱くことが可能になる。

### ii 昨年の検証

そこで昨年私達はこの「婚就活」の概念を株式会社 IBJ(2006 年 2 月設立、東証一部上場、代表取締役社長 石坂茂)様のご協力を頂いて、「ライフプランニングイベント」という形で具現化しその効果を検証した。

### iii 昨年の結果

イベント実施前には参加者のうち 15 人が結婚に対して経済的な不安を抱えていると回答していたが、実施後には 14 人が今回のイベ

ントを通して経済的な不安が解消されたと回答した。また、19 人が結婚や就活を含めた「自分の将来について考えてみようと思った」と回答した。

### iv 昨年の考察と提案

以上の結果より、「婚就活」の概念は未婚化、晩婚化、及び若年層(青年圏)の結婚への意識低下に対して効用があると見做すことが出来た。当市は「まるごとキャンパス八王子」の実現を目指している。

そこで、これらの八王子市の特性や取り組みを活かし、「八王子学園都市 vision」の枠組みの中で、どう「婚就活」の概念を効果的且つ具体的に展開していくかを見いだすべく、八王子市文化課と学園都市センターの協力を得て、約 40 名の八王子市に住む若者達と共に「学園都市八王子の特性を活かした未婚晩婚化解決を目指して」というテーマでシンポジウムを企画した。

## 2 検証.

### i .シンポジウム実施概要

シンポジウムでは初めに両職員の方から「学園都市八王子の特性」と「はちおうじ学園都市 vision」の概要とその取り組みについて講話を受け、後半では八王子市の学園都市 vision を活用し、具体的な婚就活の展開方法についてグループに分かれディスカッションした。



(活動の様子)

## ii. ディスカッション方法

①

③

### ② 結婚・家族

- ③ 興味を持ってもらう（身近に感じてもらう・体験）
- ④ 「ボランティア活動を通じて、結婚・家族の良さを感じてもらう」
- ⑤ 家族の良さを感じてもらうイベント（キャンプetc.）  
大学生がスタッフとして参加し、家族と触れ合う事で  
将来へのビジョンが明確になる（八王子の良いにも気づく）

ディスカッションでは 5 人一組のグループに別れ、次に掲げる 5 つの項目（① 活用する学園都市 vision の 7 つの基本方針の中の 1 つ、② 家族、結婚、子育てのうち一つ、③ 望む効果、④ 企画タイトル、⑤ 企画案の詳細）に分けてアイディアを出した。そしてディスカッションの最後に、一番実現可能性が高く、有効であると思われるアイディアを我々と来て下さった市の職員が、評価し順位をつけた。

## 3 結果

良かった案の 1 つとして「基本方針③学生活動支援を活用し、家族の良さを感じてもらうイベントを企画し、大学生向にスタッフとして参加してもらい、結婚や家族、子育ての良さを感じてもらう」といったアイディアが出た。

## 4 考察

八王子市文化課と学園都市センターの両職員から、学園都市 vision の方針と具体的な取り組

みについての講話があった為、より八王子の特性に合ったアイディアを生み出すことが出来た。市と大学生の連携により見られた相乗効果といえる。

実際の少子高齢化解決の為には、地域社会を巻き込んだ活動が必要だ。その為には一定の資金、信頼の獲得、産学公による方針の中立性が必要である。

そこで学園都市 vision 基本方針①地域連携支援の 1 つである学生企画事業補助金制度を活用して「婚就活」の発想を盛り込み、地域課題解決に繋がるイベントを来年は企画したいと思う。

## 5 活動計画

八王子市に在住する若い夫婦を対象にした、貯蓄面に着目したライフプランニングなどの学習を内容としたイベントを、八王子と企業の協力を要請して開催する。参加者の子供も楽しめるイベントも同時に開催し、当企画にボランティアとして参加する大学生が子供とふれあう機会を設ける。

### i. 見込まれる効果

- ・大学生が将来家庭を持ち、子育てをすることに対して前向きになる。
- ・参加者の育児や家庭について悩みやストレスが解決でき、家庭同士が知り合い、交流することで地域社会の活性化につながる。
- ・高尾山などの八王子市の観光地を利用してることで、参加者やその子供に八王子の魅力を体感してもらう事が出来る。